

第16回山形県障がい者スポーツ大会卓球競技実施要項

- 1 日 時 平成29年5月21日(日)
 - 受付 9時00分(1階展示ホール・ロビー前)
 - 開始式 9時30分(1階屋内運動広場)
 - 競技開始 10時00分
 - 競技終了 15時00分

- 2 会 場
天童市総合福祉センター 屋内運動広場・第1学習室・第2学習室
天童市老野森二丁目6番3号 電話：023-654-5156

- 3 主 管 (運営協力)
 - ・山形県卓球協会
 - ・山形県身体障害者卓球協会
 - ・天童クラブ

- 4 競技規則
平成29度(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会規則」、日本卓球ルール並びに大会申し合わせ事項による。

- 5 参加対象者
 - ・身体障がい者(肢体障がい、視覚障がい、聴覚障がい)
 - ・知的障がい者

- 6 競技方法
 - (1) 競技種目は、男女シングルの一般卓球とサウンドテーブルテニス(STT)とする。
 - (2) 部門は、肢体不自由(上肢・下肢・車いす)、聴覚障がい、知的障がい、視覚障がい(STT)の6部門とする。
 - (3) 試合は、各部門毎予選リーグ・決勝トーナメント方式とし、原則として同一部門の選手でブロックを構成するものとする。(各ブロック1位・2位が決勝トーナメントに進出する。)
 - (4) 出場選手の少ない部門については、他部門の選手と合わせてブロックを構成することがある。(1ブロック5名以内)
 - (5) 1ゲームの勝敗は、11ポイントを先取した競技者を勝ちとする。ただし、両競技者の得点が10ポイントに達した後は、2ポイントの差をつけた競技者を勝ちとする。
 - (6) 1マッチは5ゲームからなり、3ゲームを先取した競技者を勝ちとする。
 - (7) サービスは、得点の合計が2ポイント増すごとに交替する。また、双方の得点が10ポイントになったときは、順序を変えず1ポイントごとにサービスを交替する。促進ルールは適用しない。

- (8) 肢体不自由者および知的障がい者については、フリーハンド（ラケットを持っていない手の手首より先）がコートに触れても失点としない。ただし、コートに手をつけて支えにして打ったり、卓球台を動かしたりしない限り許される。
- (9) サーブについて、①サーバーは、フリーハンドの手のひらを開き平らにし、その上につかむことなく、自由に転がる状態でボールをのせ静止させる。この状態からサービスは開始される。②次にボールに回転を与えることなく、ボールがフリーハンドの手のひらから離れた後、打球される前になにもものにも触れずに落下するように、16cm以上ボールをほぼ垂直に投げ上げなければならない。③サーバーは、ボールが落下する途中を打つものとし、そのボールが最初に自領コートに触れ、次いでネットアセンブリを越えるかまたは迂回した後、レシーバーのコートに直接触れるように打球する
- ただし、身体的理由により主審の承認を得て、主審が相手方にサービスの仕方について変更を知らせた場合には、サービスの規定を緩和することができる。
- また、知的障がいについても、主審が対戦者の不利にならないと認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。
- (10) 車いす使用者が正しく出されたサービスをレシーブする際ボールが、①レシーバーのコートに触れた後ネット方向に戻った場合、②レシーバーのコートに止まった場合、③レシーバーのコートに触れた後どちらかのサイドラインを横切った場合は、ラリーはレットとなる。ただし、「レット」が宣告される前に打球した場合は、そのまま有効となる。
- (11) 知的障がい原因と認められる試合の中断があった場合、1つのマッチでの中断時間は最大10分間とする。また、速やかな試合進行のために、審判、監督、介護者等が競技者に進行を促す言葉をかけたり競技者に触れることができる。
- (12) ①STTに出場する選手はアイマスクを着用すること。
- ②サーバーは主審が「プレー」の宣告をした後10秒以内に、「サービスエリア」内にボールを静止させ、主審がボールの静止を確認できるよう、完全にボールから手を離して「いきます」と声をかける。レシーバーは5秒以内に返事をし、サーバーはレシーバーが「はい」と返事をした後、5秒以内にサービスをしなければならない。③サーブを出すときはラケットをボールから10cm以上離し、ラケットの動きを止めなければならない。一連の動作中に10cm未満でラケットを止めた場合はフォルトになる。④場内があまりにも騒々しい場合は、主審は一時競技を中止し、静かにさせた後競技を開始しなければならない。
- (13) 事故により一時的にプレーの続行が不能になった競技者に対し、いかなる場合においても5分を越えない最短時間の試合停止を認めることができる。

7 競技用具

使用球は、日本卓球ルールの規定に準じたもので、プラスチック製の球体で無光沢のもとする。

試合ラケット検査を実施する。

(JTAAの刻印か商標がなければならない)

8 服 装

競技にふさわしい服装で参加すること。背中には氏名、市町村名の入ったゼッケンを各自用意し着用すること。(縦15cm、横25cm程度／布の色は指定しない)

(例)

大 森
山 形

9 表 彰

各部門毎とし1～3位まで表彰する。なお、3位決定戦は行わない。

10 出場申込み方法

卓球競技に出場を希望する者は、別紙出場申込書(様式1-4)により、平成29年4月21日(金)までに申込みすること。郵送またはメールでの申込みを受け付ける。FAXでの申込みは受けないものとする。